

令和5年度「論理・表現標準」シラバス

科目名	必修・選択	単位数	類型
論理・表現標準	必修	2	GC
教科書	Vision Quest English Logic and Expression II Ace (啓林館)		
副教材等	Vision Quest English Logic and Expression II Ace ワークブック (啓林館) 文法語法問題集 (書名は未定)		

1 学習目標

この科目では、「Vision Quest English Logic and Expression II Ace」の教科書を使用し、昨年度学習した内容をより深化させて理解・定着・発展させることを学習目標とします。自己表現に必要な英語の仕組み、すなわち文法・語彙・表現等を反復学習し、ライティングはもちろん、ペア/グループワーク、スピーチ・プレゼンテーション・ディベート・ディスカッション等の活動を通して、3領域（「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」）において論理的な発信能力のさらなる伸張を目指します。最終的に社会的な話題について自分の考えを述べるができるような、また、英検や大学入試に対応できる実践的表現力の養成も目指します。

2 学習概要

- ア 導入 : 各レッスンのトピックに関する背景知識を知る  
文法事項を機能ごとに学び、正確に書く/話すための知識・技能を身につける
- イ 活動 (演習) : 学習した文法機能・表現を用いて、提示された場面や状況に応じて、あるいはグラフや図表をもとにして表現の練習を行う
- ウ 活動 (実践) : 「話す (やり取り)」、「話す (発表)」、「書く」の3領域において、学習した文法機能・表現を応用しながら、各レッスンのトピックに関する生徒自身の情報や意見の発信活動を行う (ライティング・スピーチ・プレゼンテーション・ディベート・ディスカッション等)
- エ その他 : 文法・語法問題集を使って大学入試に対応する実践力を身につける

3 学習方法

(1) 授業への取組

授業で、各レッスンの文法・語法のポイントを理解し、その知識・技能を使って実際に書いたり、話したり、聞いたりして論理的な表現力の習得を目指します。また授業中は積極的にかつ論理的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を保つことが重要です。文法に関する確認テストやスピーキング、ライティングのテストも定期的に行います。授業中に理解できないことがあった場合はその日のうちに質問し、わからないままにすることがないようにしてください。

(2) 家庭学習

- ・予習  
教科書の内容を一読し、どんな内容を学ぶのかを事前に確認しておいてください。その際、わからない単語・熟語・表現は辞書で調べておきましょう。  
Topic Introduction を読んで内容を理解する、Example Bank の各英文を暗唱してしまうくらい読む、Try it out の1の答えをノートに書き、2～3は事前に表現したい内容を考えておく (ノートに書いておくのもよい)
- ・復習  
授業で学んだことを確認し反復練習することで学習したことを100%理解するようにします。英語での自己表現力を向上させるために、間違いを恐れずにどんどん発信していくことはもちろん大切ですが、自分の犯しやすいミスに気づき、より洗練された表現にしていくために、復習で再度文法語法を確認し、理由や根拠を意識して論理的に意見発信ができたかを振り返り、一度書いた作文や発表原稿は、誤りを訂正しリライトするといったフィードバックをする必要もあります。

4 評価について

(1) 評価方法

「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」の3領域を、「知識・技能 (①)」、「思考力・判断力・表現力 (②)」、「学びに向かう人間性 (③)」の3観点で評価を行います。

具体的な評価方法は以下の通りです。

- ・定期考査（中間・期末考査、学力テスト）……………①、②
  - ・授業中の確認テスト（ペーパー）または発表（口頭）……………①、②、③
  - ・授業中の発問に対する応答……………①、②、③
  - ・授業に対する姿勢や態度……………②、③
  - ・課題や提出物等の提出状況……………①、②、③
- 上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

(2) 評価規準

	知識・技能 (①)	思考力・判断力・表現力 (②)	学びに向かう人間性 (③)
評価基準 (論理・表現Ⅱ)	○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声、語彙・表現、文法を、3領域（話すこと [やりとり]、話すこと [発表]、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。	○場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語での確に理解したり適切に表現したりしている。 ○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。	○外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 ○外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

5 学習計画

学期	単元名	学習のねらい（内容のまとめりごと）	考査等
一学期	Lesson 1 Future Goals	適切な主語を用いる Connecting sentences 文と文をつなぐ	学力テスト
	Lesson 2 School Life	適切な動詞を用いる Paragraph Writing ① パラグラフの基本構成 列挙・順序	
	Lesson 3 Sports	時を表す Paragraph Writing ② 例示・追加	期末テスト
	Lesson 4 Information Age	義務・必要・推量を表す Paragraph Writing ③ 比較・対照	
二学期	Lesson 5 Environmental Issues	情報を加える(1) Paragraph Writing ④ 原因・理由・結果	学力テスト
	Lesson 6 Cultures	情報を加える(2) Citing information 主張や理由の根拠を示す	
	Lesson 7 Language Education	情報を加える(3) Summarizing ① リーディングの要約	期末テスト
	Lesson 8 Society	情報を伝える Summarizing ② リスニングの要約	
	Lesson 9 Wishes	条件と仮定を表す Speech	
三学期	Lesson 10 Science and Technology	数量を表す Presentation プレゼンテーション	学力テスト
	Lesson 11 Health	比較を表す Debate ディベート	
	Lesson 12 Business	否定を表す Discussion ディスカッション	学年末テスト